

日本消防



□ 絵 女性消防団国際会議 平成26年9月29日(月) 於 都市センターホテル・コスモスホール
 CTIFワーキンググループ会議 平成26年9月29日(月) 於 都市センターホテル5階
 ラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」好評放送中 (公財) 日本消防協会

| | | |
|---|-----------------------|----|
| 巻頭言 災害に備えて「一致団結」 | 三重県消防協会 会長 岩木 政己 | 1 |
| 日消の動き 27年度は新法施行後実質初年度 | (公財) 日本消防協会 会長 秋本 敏文 | 2 |
| 2014年度CTIF総会について | (公財) 日本消防協会 | 3 |
| 女性消防団国際会議 | (公財) 日本消防協会 | 5 |
| 「消防団応援の店」現地ルポ いざ「清流の国ぎふ」へ「消防団サポート事業」を訪ねて | 元野洲市消防団 副団長 山本きぬ江 | 10 |
| ラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」出演者紹介 | (公財) 日本消防協会 | 14 |
| 特別表彰「まとい」を受章して「まちの消防団として」 | 宮崎県日之影町消防団 団長 佐藤 靖則 | 18 |
| 東西南北(広島県)「地域に根付いた防災機関 消防団」 | 竹原市消防団 団長 土居 敏一 | 20 |
| 東西南北(宮城県)「うみ・ひと・まち 七ヶ浜」の消防団 | 七ヶ浜町消防団 団長 氏家 進 | 22 |
| 東西南北(石川県)地域防災の要「縁の下の力持ち」 | かほく市消防団 団長 西山 昇 | 24 |
| 東西南北(山形県)上杉の城下町「なせば成る なさねば成らぬ 何事も 成さぬは人のなさぬなりけり 上杉鷹山」の精神を受け継いで!! | 米沢市消防団 団長 石川 正義 | 26 |
| シンフォニー(埼玉県)「市民のために！」つながる活動へ | 深谷市消防団 女性分団 班長 五間 くみ子 | 28 |
| シンフォニー(沖縄県)「自分のできる事を探す」 | 名護市消防団 団員 仲間 光代 | 30 |
| 平成26年度消防団幹部等海外消防事情調査(北米コース) | (公財) 日本消防協会 | 32 |
| 平成26年度 防火ポスターコンクール審査結果 | 生活協同組合 全日本消防人共済会 | 38 |
| 「桑名市消防団サポート事業」平成26年10月1日から運用開始 | 桑名市消防団 | 40 |
| 荻窪消防団と三鷹市消防団の連携による震災時を想定した貯水・遠距離送水訓練を実施 | 荻窪消防団 | 41 |
| 外出先での地震への対処 | 消防庁 防災課 | 42 |
| 消防団員・消防職員だからこそ加入できる消防個人年金 | (公財) 日本消防協会 | 43 |
| うちの名物団員 | | 44 |
| 消防団の広場(富山県)「安全・安心で自然の豊かな町であるために」 | 朝日町消防団 団長 鹿熊 正一 | 46 |

編集後記

表紙写真説明

三段峡の説明について

広島県安芸太田町にある三段峡は、全長 13 kmにおよぶ大渓谷です。昭和 28 年国の特別名勝に指定されました。

渓谷部門の特別名勝は全国に五ヶ所しかなく、まさに日本を代表する景観を持つ渓谷です。「三段滝」は三段峡の中でも最も有名なスポットの一つで、滝の全長は 120mにわたり、三段に連なる豪快な滝で、その奥深い立体感の迫力、神秘の森のコラボレーションは世界に誇る景観です。一度は触れておきたい日本の美がそこに眠っています。(広島県安芸太田町)

女性消防団国際会議

平成26年9月29日（月） 於 都市センターホテル・コスモスホール
(公財) 日本消防協会



CTIF女性消防ワーキンググループ会議

平成26年9月29日（月） 於 都市センターホテル・5階スバル
(公財) 日本消防協会



ラジオ番組
「おはよう！ニッポン全国消防団」
好評放送中！

(公財) 日本消防協会

8月放送分に出演の
東関部屋 振分親方(右)
山本剛士ニッポン放送
アナウンサー (左)



9月, 10月放送分に出演の
蝶野正洋さん(左)

10月, 11月放送分に出演の
葛城ユキさん(右)



災害に備えて「一致団結」

三重県消防協会 会長 岩木 政己



三重県は、伊勢湾から熊野灘に至るまで南北に沿って広く海岸に面し、漁業・養殖等の海産物に恵まれ国立公園を中心とした景勝地の他、世界遺産である熊野古道等自然豊かな県として、また北勢地域では石油化学工業や自動車工業が発達し中京工業地帯の一角を担う産業の発展にも貢献しています。

海岸地方以外では山間部も広く分布しており、私の住む伊賀盆地では大阪の通勤圏内として宅地開発が行われた他、杉や檜の産地として林業も盛んな人口約180万人の県として紹介させていただきます。

さて、南海トラフ大地震を想定した三重県の被害は、沿岸部を中心に広範囲に及ぶと予想されているなか、未曾有の災害である東日本大震災を教訓として海岸沿いを管轄とする全ての消防体制の充実及び強化が急務とされていることから、県民一人一人の安心そして安全の確保を最優先として捉え、今こそ消防職団員が一致団結し一丸となって来るべき災害に備えなければならず、避難誘導や広報のあり方について見直しを図るとともに地域との連携を深め、より実践的な訓練を重ねる必要があるという事は、周知の事実でもあります。

三重県の沿岸地域については、過去の津波被害の経験を踏まえつつ津波到達の予測を理論上の最大値として推測し、消防職団

員を含め関係各機関の具体的な行動指針として作成されました「三重県新地震・津波対策行動計画」に基づき、早期の避難誘導及び広報に務め、鈴木知事の言葉にもあります「生きるために備えてください、生きるために逃げてください」をスローガンにして、守るべきは自分から、そして共に住む家族や仲間から、最後に公的な立場からの活動として「自助」「共助」「公助」が円滑にかつ迅速に全ての地域において支援という名のサークルを描けるように消防職団員が、地域密着し最前線で活躍できることを目指していきたいと思います。

その他、近年の異常気象から多発している集中豪雨や竜巻による被害に対しても、我々に与えられた装備で活動を実施する中で県民の生命身体財産を守るべく懸命に活動し、それに携わる消防職団員の二次災害も問題視されているところでもあり、救助者の安全にも更なる配慮のうえ整備していく必要があると感じているところであります。

最後に、災害に立ち向かうために一番必要な「一致団結」を胸に三重県の海岸から山間部に至るまで、消防職団員の更なる充実に向けて整備し、来るべき災害に備え日々邁進し、体制強化に取り組んで参りたいと思います。

27年度は新法施行後実質初年度

(公財)日本消防協会 会長 秋本 敏文

ご存知のように、昨年成立の「消防団を中核とした地域防災力充実強化に関する法律」は、消防団にとってはもとより、我が国の消防防災体制のこれからのあり方を示す点でもまさに画期的な、大きな意味をもつ法律です。法律成立はすばらしいのですが、いつも申しあげていますように、法律ができてよかったというだけでは現実には何の効果もありません。法律の趣旨をいかすための現実の動きが必要です。そのため、ひとつには、8月29日、国民運動的な盛り上がりをめざして、当協会主催による「消防団を中核とした地域防災力充実強化大会」という初めての国民的な大会を開催しました。

しかし、現実には地域防災力の強化を進めるためには、活動や装備等の裏付けとなる予算、財源が必要です。そのため、国に対しては、本年5月と9月に平成27年度の予算等について要望しました。そこでは、新法成立が昨年12月でしたから、平成26年度の予算への反映は間に合いませんでしたので、平成27年度の予算が、予算の面では実質的に初年度であり、平成27年度に初めて新法がいきる予算が登場することになること、そこで新法成立のすばらしさが実感できるようにして頂きたいという趣旨のことを申しあげました。

ところで、実は市町村の予算編成も平成27年度が実質初年度です。新法の趣旨をいかして消防団の充実、地域防災力の強化を進めるためには市町村段階での具体的な予算が必要です。そこで、先日、日消から各消防団あて、27年度の各市町村予算についてご尽力をお願いしました。これは簡単ではないと思います。これまでも、消防団の皆さんはがんばっておられますが、なかなか思うようにいっていないと思います。国の財源措置として、今は国庫補助金がなくてもっばら地方交付税、地方債になっているのですが、地方交付税はいわゆるひもつき財源でなく、自由に使えるお金であるとか、いくら措置されているかわからないとか、いろいろいわれている筈です。それらについて、どう対応するかも書きました。丁度、国の方からも地方交付税の措置内容などについて説明する通知がだされましたので、これも添付しました。

このような通知は、差し出がましいとか、押しつけがましいと思われるかもしれない思いながらも、27年度の予算は大変大事だと思いますので何とか応援したいという気持ちからあえてお手紙を出しました。また、議論の過程でいろいろご意見があれば、それも日消に教えて頂きたいと申し添えました。市町村での予算化が実現しなければ消防団の装備の改善等は進みません。日消もこれらが何とか前進するよう努力したいと思います。

2014年度CTIF総会について

(公財) 日本消防協会

CTIF（国際消防救助協会）の2014年度総会はセルビア共和国首都ベオグラードにおいて開催され、日本消防協会から秋本会長が出席しました。

日本消防協会は一昨年9月スロバキア共和国で開催されたCTIF総会で加盟の承認をされてから会員として2回目の参加でした。

CTIFは、1900年に設立された消防・救助に関する国際ネットワーク組織で、ヨーロッパを中心に、36か国の消防協会等が加盟しており、加盟国の消防隊員・義勇消防隊員約500万人、青少年義勇消防隊員約65万人を擁しています。国際競技会、シンポジウム、青少年消防指導者や義勇消防等に関する委員会、ワーキンググループの開催等のほか、加盟国で情報交換を行っています。国際競技会については、消防オリンピックを4年に1回、青少年消防オリンピックを2年に1回開催しており、日本消防協会は、2009年にチェコ共和国で開催された青少年消防オリンピックに少年消防クラブのメンバーを



派遣しました。次回の青少年消防オリンピックは来年7月にポーランドのオポーレ市で開催予定です。

今回の総会では、秋本会長が約1週間後日本で開催予定のCTIF女性消防隊ワーキンググループ会議及び女性消防団国際会議について報告しました。また、今年深刻な洪水災害を受けたセルビアに対して、見舞金3,000ユーロ（約40万円）をセルビア消防協会に贈呈しました。

東日本大震災では、セルビアは一般市民の方も多くの募金をし、ヨーロッパで



左から：セルビア消防協会会長、副会長、CTIF総裁、秋本会長

一番の募金をしてくださいました。

CTIF総会出席のほか、ベオグラード市消防局を視察しました。

ベオグラード市消防局の本庁は市内全域の指揮をとっています。ほかに15の消防署があり、約750名の職員がいます。

ボランティア消防は、20隊で約1000名が在籍しています。市の中心部では、3つの隊があり、職員と協力して仕事をしています。建物の消防点検も実施しています。



手段がいろいろありましたが、今は国に依頼しても、とても時間がかかるようになってきました。

今年は、ベオグラードから20km離れた町では、水害が起こり24時間働きづめで活動を行いました。

ベオグラードの消防では、30人の女性職員がいます。勉強や練習、その後にある試験については、男女一緒に行います。しかし部隊に入ってから、女性隊員の安全への配慮もあり、また女性は人当たりが良く通信や市民との対応に優れているため、通信室や事務の仕事が多いとのこと。



ボランティア消防は減少傾向にあり、確保対策が急がれており、スイスのような義勇隊員に対する減税措置に興味を示しています。

10年前から、消防は、警察と同じように内務省管轄の国家機関になり、職員は警察と同じように国から給与が出るようになってきました。しかし、消防は警察に比べ規模が小さく、職員も少ないので、お金の分配において消防は後回しになっています。そのため、古い車両が多い状態となっています。昔は車両などを買う

緊急事態になれば、男性と一緒に仕事することも可能ですが、できるだけ最前線に行かせないように配慮しています。

女性消防団国際会議

(International Conference For Woman Volunteer Firefighters)

(公財) 日本消防協会

平成26年9月29日(月)初めての「女性消防団国際会議」を、日本を含めた欧州、北米の9か国のご出席のもと、約250人のご参加により開催しました。

消防の世界においても、世界各国、女性の活躍が益々めざましくなっています。しかしながら、女性の皆さんの具体的な活動内容やさまざまな面での処遇のあり方などについて、世界各国とも共通の課題があり、それぞれ解決に努力しておられることがわかってきました。そこで、各国が一堂に会して、率直な意見交換、情報交流をし、消防の益々の発展と、各国消防団関係者の国際的な友好交流を深めるため、この国際会議を開催することとしたものです。

【会議内容】

○主催者あいさつ(公益財団法人日本消防協会 会長 秋本敏文)

本日の会議を主催いたしました日本消防協会会長の秋本でございます。

世界各国からご参加頂いた皆様、国内各地からご参加頂きました女性消防団員などの皆様、本日はご参加ありがとうございました。

本日は、実は高市総務大臣もご出席されたいという強いご意向だったのですが、今日が国会初日ということになってご出席が不可能になりました。しかし、後程、その強いお気持ちがあふれるメッセージを頂くこととなっております。

本日の会議開催のキッカケは、CTIFというヨーロッパ中心の国際消防組織に女性の消防活動に関するWG(ワーキンググループ)がありますが、その座長でいらっしゃるロシアのタチアナ・エレミナさんから日本でのWG会議の開催を呼びかけられたことです。

CTIFに正式に参加しました一昨年、日本にとっても重要なテーマだと思って私もこのWGに参加しまして以来、タチアナさんとも馴染みができていたのですが、お話を頂いて、面白いと思うと同時に、WGの会議だけでなく、日本の消防関係者にも参加して頂くシンポジウムにすることができればもっと面白いし、日本消防のこれからの発展に役に立つと思えました。そこから各国の皆さんともご相談して、本日の会議を迎えることができました。そして、あらためて考えてみますとこのような会議は世界的にみて初めてでありまして、この日本で記念的な会議を開催することができたのであります。

さて、各国の皆さんからお話をうかがっていますと、日本だけでなく、世界各国でも消防における女性の活動が重要になっていますが、具体的な活動の内容や活動環境、処遇など、それぞれの国で課題に直面しており、その解決に努力しておられます。それは、国によって事情は異なりますが、共通している面もあると思われま



そこで、各国が一堂に会し、それぞれの状況について意見交換、情報交流を行うことは日本を含めて各国消防の一層の発展にとって意義があると考えました。

そのようなことからこの大会を開催することといたしました。最近の動きのなかで一層力づけられたことを申し上げますと、CTIFでは、これまでWGという位置づけでしたが、先日の総会でこれをcommission、日本語で申しますと、委員会ということのようですが、要はこの問題について単に意見交換を行うにとどめるのではなく、CTIFとしても今後の消防のあり方に関する重要なテーマとして位置づけ、各国が協議する正式の機関へと、いわば格上げすることにいたしました。女性の消防活動が世界共通の重要な問題であることが明確にされたということだと思います。

また、国内では現在の安倍内閣において女性の輝く社会づくりが基本的な政策課題のひとつとされています。消防における女性の活動に対する皆さんのご関心も高まっており、先程申し上げたように本日は高市総務大臣ご自身のご出席は不可能となりましたが、このあとお気持ちのこもったメッセージを頂きます。勿論、女性の消防活動をめぐる問題については、いろいろ考えなければならぬこと、解決しなければならないことがあります。従って、具体的にどうできるかは、そう簡単なことではありませんが、今日の会議は将来に向かっての意義ある一歩になると存じます。

皆さんのご協力を頂きながらそのような大会にしたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

本日の参加に重ねてお礼申し上げます。

○ 来賓あいさつ（総務大臣 高市早苗 代読 消防庁長官 坂本森男）

「女性消防団国際会議」が盛大に開催されますことを心からお慶び申し上げます。

外国からご参加下さいました皆様、ようこそ日本へお越し頂きました。心から歓迎申し上げます。

また、本日もご参加の皆様におかれましては、各地域において、昼夜を分かたず地域の安心・安全のために献身的に活動していただきありがとうございます。深く感謝を申し上げます。

日本の消防団は、地域住民の守りとして、地域と共に歩んできました。

今年、1894年に消防団が全国的に統一されてから120周年の節目の年です。

現在、全国で約86万人の消防団員が、地域防災の中核として、日々、地域住民の命を守って下さっています。先日も、広島市において、短時間に記録的な猛烈な雨が降り、土砂災害が発生しましたが、消防団が地域住民の避難誘導や救助活動などを行い、活躍して下さいました。また、一昨日、御嶽山で噴火が発生し、多くの犠牲が生じております。地元の消防団を含め、消防、警察、自衛隊が総力をあげて救助活動に取り組んでおります。一刻も早く行方不明者が救助されることを祈っております。

このような消防団を強化するため、昨年12月に「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」が成立しました。

この法律を踏まえ、消防団を始めとして地域防災力の充実強化を図る必要があります。

女性消防団員は、平成2年には約千人でしたが、平成26年4月には約2万2千人となり、毎年増加し続けています。また、活動内容も、一般的には広報啓発や予防活動などが中心ですが、消火・救助活動を行う男性顔負けの女性消防団員もおられ、その役割は拡大しています。

安倍内閣は、女性が輝く社会を作ることを重要政策の一つに掲げています。



今後、益々女性の活躍が期待されている中、本会議は、女性消防隊に関して各国が抱える課題をシンポジウム形式で議論する、世界でも初めて開催されるものであり、誠に意義深いものであると考えます。

私は、国家の究極の使命は、国民の生命と財産を守ることであると考えております。女性消防団員を始め地域防災力の充実強化を図り、防災対策をしっかりと前進させるために、全力で取り組んで参る所存です。

結びに、本会議の成功とご参集の皆様の益々のご活躍を心から祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

○ パネルディスカッション「女性消防団の現状と課題」

・参加国と発表者

① カナダ（ウイスラー市義勇消防隊員 メリッサ・フィニー）



2002年にパートタイム消防士としてウイスラー消防本部に入隊。現在、ウイスラー消防協会理事会メンバー。所属消防本部には60人のパートタイム隊員と30人の常備隊員が置かれ、3つの消防署で構成される。車両事故、救急、建物火災、林野火災、高所ロープレスキュー、氷上、水上レスキュー等を対応する。

現在4人の女性消防士のなか、パートタイムは2人、常備は2人。現消防長は、1989年にプリテッシュコロンビア州では初めての女性常備消防士となり、1999年に初めての副消防長となった方である。すべてのパートタイム隊員は常備隊員と一緒に6ヶ月訓練を受けて、「消防1」という275時間訓練プログラムを修了してから初めて出動の資格を得る。その後、週2時間の訓練を受けている。

② フィンランド（国家警察理事会プロジェクトマネージャー ミラ・レイノネン）



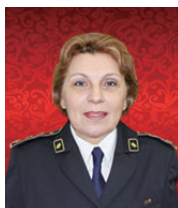
フィンランドの国家警察委員会のプロジェクトマネージャ。子供時代から故郷のアンヤラ（コウボラ市）の消防本部でボランティアの仕事をしていた。消防大会では数回優勝の経験がある。理科修士卒、消防技術者でもあり、フィンランド運輸安全庁の上級専門家として勤めていた。また、彼女は地方行政庁の消防救助部で上級監査役として、フィンランド中西部の5つの消防本部を指導していたが、現在、国家警察理事会に出向中。

③ ロシア（ロシア女性安全機構会長 タチアナ・エレミナ）



独立非営利機構ウイミン・フォ・セフティの会長。ロシア緊急事態省EMERCOMにも協力している。CTIF女性消防隊ワーキンググループが設立されて以来、座長として5回の会議を主宰した。

④ セルビア（セルビア消防協会副会長ルジカ・ベラノビック）



CTIF女性消防隊ワーキンググループセルビア代表



⑤ スロベニア（義勇消防隊上級幹部 マリンカ・センブレ）



義勇消防の上級幹部。1993年～2008年の間スロベニア消防協会の副会長として努めた。義勇消防隊員として義勇消防本部の80%以上の出動に参加している。沢山の時間をかけて、少年消防の競技会への指導や女性消防の課題についての講義や指導に従事している。



⑥ スウェーデン（スウェーデン緊急事態庁担当部長 レナ・ブランゼル）



民間における緊急事態対策に関わる国家機関であるスウェーデン緊急事態庁の担当部長であり、CTIF女性消防隊ワーキンググループのスウェーデン代表も務めている。

⑦ アメリカ（全米義勇消防協会理事長 ヘザー・シェファー）



全米義勇消防協会の理事長。組織内外の業務全般を管理しているとともに、組織の資金調達責任者でもある。また、消防隊員心臓健康プログラム、シェア・ザ・ロード（ストレス解消）プログラム、義勇消防支援基金など、米国の消防や救急に携わる義勇消防隊員を対象とした主要な健康・安全プログラムの発展に貢献してきた。クリントン政権時には大統領首席補佐官の下で働き、ハリケーン・アンドリュー襲来時には連邦緊急事態管理庁に勤務していた。ヘザーはオハイオ州立大学を卒業後、メリーランド大学にて非営利組織・協会運営の修士号を取得した。

⑧ 日本（東京都赤羽消防団副団長 小澤浩子）



元文化放送アナウンサーであり、現在は東京都北区の赤羽消防団で副団長をつとめるとともに、消防庁の委嘱する消防団員確保アドバイザーとして、また、日本消防協会の主催する出前講座の講師としてなど、各分野で活動している。



・コーディネーター（日本消防協会会長 秋本敏文）

○意見交換



○ 女性消防団国際会議アピール

最後に、大会の締めくくりとして世界各国の女性消防団の更なる発展を誓い、女性消防団国際会議アピールを朗読し、満場一致のご賛同を頂き盛大のうちに終了しました。

女性消防団国際会議アピール

2014年 9月29日

1 火災はもちろん、さまざまな自然災害、テロ事件などへの消防の対応において、女性は、家族を守り、地域の安全を確保するため、これからも一層の活躍をします。

2 女性は、女性の特性をいかして、男性とは異なる活動も行い、消防の活動をさらに充実させます。

3 女性の活動を一段と発展させるため、これからも各国が連携し、活動環境の改善を進めます。

1. In responding to various natural disasters and terrorism etc., not to mention fires, women in fire services shall play even more an active part to protect their families and secure the communities.

2. Women shall make good use of their characteristics by carrying on different kinds of tasks so as to enrich the firefighting activities.

3. In order to further develop women's activities, all participating countries shall work together to improve women's working environment.

○おわりに

女性の活動内容が議論の大きなポイントだったのですが、粗っぽく大別しますと、男性と女性の活動をはっきり区別している国と、男女同一としている国があります。前者はロシア、セルビアですが、意見交換の中で女性の活動分野を拡大する方向で見直す動きを始めているという話がありました。アメリカ、フィンランド、スウェーデンは男女同一といってよいでしょうが、しかし現実には、女性には難しい体力テスト、日常的なセクハラ、男性向きのままの施設など、色々な問題があることも話してくれました。

このように女性消防団員の活動は、各国とも活発化しています。それぞれの国の考え方、事情がありますから、単純に外国の例を取り入れるなどということには勿論なりません。今後の運営上、参考になる点が色々あったと思います。日本消防の一層の発展にお役に立つよう願っています。

○交流会



「消防団応援の店」現地ルポ

いざ「清流の国ぎふ」へ 「消防団サポート事業」を訪ねて



元野洲市消防団 副団長 山本きぬ江

はじめに

去る9月27日11時52分頃、長野と岐阜県にまたがる御嶽山の噴火により多数の尊い命が奪われてしまいました。

この災害報道を目の当たりにし、自然災害の恐ろしさをあらためて痛感させられたところでございます。この災害によりお亡くなりになられた方々に対しまして、心からご冥福をお祈り申し上げます。

現地ルポ出発 いざ岐阜県へ

10月16日（木）午前10時に岐阜県庁へ赴き、岐阜県危機管理部消防課防災対策監の渡邊様からご挨拶をいただいた後、消防係主査の日比野様と同係主査の臼田様に対しまして、「消防団応援の店」に係る実態調査を行いました。



～県庁での実態調査～

実態調査Q & A

Q 1 岐阜県として「ありがとね！消防団水防団応援事業所制度」を設立されたきっかけをお尋ねします。

A 1 平成24年度末に岐阜県水防協議会からの提案を受け、その後、県内の消防団等との調整を経て事業化に至りました。

Q 2 この事業の目的は？

A 2 県内のあらゆる地域を挙げて消防団を応援する気運を高めていくことで、消防団員及び水防団員のモチベーションを維持しつつ、消防団員の加入促進に繋げていくことを目的として事業化したものです。

Q 3 具体的な制度の内容を教えてください。

A 3 応援事業所として登録していただいた店舗や企業が、県内の消防団員及び水防団員に対して、割引等のサービスの提供を行う制度で、登録していただいた店舗などにおいて、飲食や買い物、施設利用などをされた際、「岐阜県消防団員・水防団員カード」を提示することで、割引等のサービスが受けられる制度です。

Q 4 設立における諸準備について教えて

ください。

A 4 岐阜県の商店街振興組合連合会等に対しまして、本制度に係る説明会を開催し、各組合員様から概ね了承をいただき、さらには県生活衛生同業組合(飲食、喫茶、中華、鮨、理容、クリーニング、旅館ホテル、社交飲食、料理)並びに管理施設(花フェスタ記念公園、県美術館等)、県内広域多店舗展開事業所へも協力を依頼し、概ね了承を得られました。

Q 5 この制度の設立年度及び現在の登録事業所数を教えてください？

A 5 「ありがとね！消防団水防団応援事業所制度」取扱要綱を平成26年4月1日に施行、同時に登録事業所の募集を開始し、10月15日現在では850店舗にご登録をいただいております。

Q 6 どのような事業所が登録を？

A 6 県としては、出来る限り県内一円で消防団員・水防団員の皆様方にご利用いただけるよう、例えば銀行に登録をいただきました。

応援の内容につきましては、新規に融資実行する対象ローンについて、店頭表示金利から一律0.5%の金利優遇を最終期限まで適用していただけるというものです。

また、後ほど取材をしていただく自動車販売店、さらには携帯電話販売店、女性消防団員向けには美容院といった多くの業種からのご登録を得ております。

Q 7 今後の方向性についてはどのようにお考えですか？

A 7 制度の推進と利活用の拡大を図って

いくため、様々な広報媒体を活用した周知・PRを実施して登録事業所の募集を図っていきたいと思います。また、利用者の利便性を向上するため、現在の県HPに登録事業所の位置情報を簡単に検索できるシステムを構築していく予定です。

以上、岐阜県庁での取材を終了し、今回は3事業所への現地取材をすることになりました。

現地取材結果～1店舗目

最初に訪問させていただきましたのは、JR岐阜駅から車で5分程の岐阜市柳ヶ瀬通にあるホテルグランヴェール岐山です。このホテルでは、1階にあるレストラン「カトレア」のランチバイキングや、最上階の11階にあるレストラン「ボン・ルパ」でのランチ代が10%割引となっているとのことでした。

ランチタイム

1件目の取材が終了した時点でお昼すぎになりましたので、レストラン「ボン・ル



～レストラン入口の説明書き～



～ご馳走さまでした！～

パ」で昼食をいただくことになりました。
(実は日程どおりでした。)

すると、徐に県消防課消防係主査の日比野さんが携帯電話を取り出され、ふと見ますと携帯電話の裏側には「ありがとね！消防団水防団」のシールが貼られていました。実は、日比野さんは現職の大垣市消防団の団員さんでした。ということで、このお店の支払いをお店のご厚意により私の分まで10%割引の特典を受けることができました。

現地取材～2店舗目

次に訪問したのは、岐阜トヨタ自動車(株)の本社です。

岐阜トヨタ自動車は県内に新車店舗24ヶ所、レクサス店2ヶ所、U-Car（中古車）店舗6ヶ所、フォルクスワーゲン店2ヶ所を展開している事業所で、一部の店舗を除き、新車成約時に車載防災セットのプレゼント、またU-Car成約時にドライブレコーダー又はプラズマクラスターのプレゼント、また車検整備時のエンジンオイルを無料で交換していただけるとのことでした。



～大矢取締役様との記念写真～

大矢取締役様からのメッセージ

岐阜トヨタ自動車(株)本社では、取締役管理副本部長兼経理部長兼総務部長の大矢様、同じく総務部次長（総務担当）の織田様にお話を伺いました。

はじめに、この制度への登録に際しては、各店舗所長会議において説明をして周知され、社会貢献の一つとして、県内で防火防災にご尽力されている消防団・水防団の皆様を全面的にバックアップすることとしております。

次に、消防団員の方々の制度の利用状況について伺ったところ、既に車両販売での利用が2件あり、新規のお客様でもあったことから、企業としても有益な結果となったとのことでした。

また、社員の方のなかには現職消防団員の方が数名おられ、その方々の消防団活動への従事について伺ったところ各所長の判断により対応しているとのことでしたが、土日営業の勤務であることから、休日に行われることが多い平時の消防団活動にはなかなか参加できない現状があるとのことをお話をいただきました。

最後に、この制度が双方にとって有益なものとなるよう、是非とも、消防団・水防

団の皆様のご来店を心よりお待ちしております！とのことでした。

現地取材～3店舗目

最後に、岐阜県美術館へ訪問させていただきました。ここでは、館内にあるミュージアムショップが登録店となっており、粗品をプレゼントしてくれるとのことでした。

ちなみに、美術館の入館料についてもサポート内容を検討したそうですが、例規の改正などが必要となることから、今回は見送ったそうです。

※館内での撮影が禁止されておりましたので記録写真はご容赦ください。

実態調査&現地取材を終えて（感想）

今回の取材にあたって、本来、「消防団応援の店」は各市町で実施されるものだと思っていたので、今年の8月から施行運用された岐阜県での「ありがとね！消防団水防団応援事業所制度」をお聞きした時に驚き、ましてや既に「消防団応援の店」の制度に取り組みされている関市消防団、高山市消防団や中濃振興局で実施をされている加茂地域消防団応援サービス「消防カモン」などとの調整はどのようにされたのかが不安でした。

しかし、その心配は現地取材をしているうちに、この制度が県と市町がお互いにそれぞれの共通した目標に向かって調整を繰り返し行われ、今回の岐阜県としての取組みを開始されるに至ったこととお聞きし、この制度を運用するにあたって、県主導ではなく、あくまで県内全域の消防団をサポートするスタンスに立って事業化され、市町の消防団との連携についてもスムーズ

に対応されたとのことで、心配を払拭することができました。

今回の取材でご紹介させていただきました岐阜県での「消防団応援の店」制度への取組みを是非参考にいただき、各都道府県に広がっていくことを大いに期待しております。

最後に、今回の取材にご協力いただきました登録事業所の皆様、岐阜県の防災担当者の方々には大変ご多忙の中にもかかわらず、ご協力をいただき、誠にありがとうございました。

おまけ

ようやく、私の在籍していた野洲市消防団におきましても消防団サポート事業として、「頑張れ野洲市消防団！消防団応援の店」が去る10月1日（水）から運用が開始されました！

記念すべき第1号店となりましたガソリンスタンドでは、消防団員及びその家族に対して、現金給油で1リットルあたり5円値引きしていただけるとのことでした。



ラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」 出演者紹介

(公財) 日本消防協会

日本消防協会では、芸能界、スポーツ界等の著名な方々により結成された「消防応援団」のご協力を得て、全国各地で頑張っている消防団員にエールを送るとともに、一般の方々にも消防団活動等について理解を深めてもらうため、消防団に関するラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」を放送しています。

今回は、平成26年8月から11月までに放送した出演者を紹介します。

平成26年8月放送分に
出演の消防応援団
東関部屋 振分親方さん



8月2日又は3日放送



青森県
板柳町消防団
団付分団長
今 浩一さん

8月9日又は10日放送



福島県
桑折町消防団 団長
半澤 博さん

「今回、親方と初めてお話し、消防団にとっても関心を寄せて戴き嬉しい限りです。今度お嫁さんを連れての帰郷を町民一同、心待ちにしています。」

今回、振分親方とラジオで桑折町消防団の活動を発信できたのは、先輩方による指導と、訓練・夜警・点検を頑張っている団員の活動、地域の皆様のご協力があつてのことです。これからも防火活動に励みます。期待してください。

8月16日又は17日放送



奈良県
奈良市消防団 団員
本田 ゆとりさん

ラジオ番組の収録なんて初めての事ですし、対談のお相手がテレビで何度も拝見した事のある高見盛さんという事で、とても緊張しました。

ですが、今、全国に広めるべく奮闘中の「やまとなでしこ体操」について、沢山お話しさせて頂く事が出来て、ラジオでの広報にもなりましたし、私自身貴重な体験になりました。今後も仲間と力を合わせ、消防団活動を頑張っていきたいと思います。

8月23日又は24日放送



高知県
黒潮町消防団 団長
杉本 正守さん

この度はラジオ出演させていただきありがとうございました。美しい海と山、そして素晴らしい人々のいる黒潮町にぜひ遊びにきてください! その夜は一杯やりましょう!

8月30日又は31日放送



神奈川県
相模原市消防団 班長
小川 太朗さん

親方とお話できて嬉しかったです。現役時代、本番に強いといわれていた親方に、「土俵上では、どんなことを考えていたのですか?」と質問したかったのですが、緊張して聞けませんでした。

平成26年9月、10月放送分に
出演の消防応援団
蝶野正洋さん



9月6日又は7日放送



新潟県消防協会会長
(新潟市消防団 団長)
藤田 隆さん

ラジオ出演で新潟市消防団の良さを伝えることができたと思います。地域防災力の要である消防団の長としてこれからも尽力してまいります。

9月20日又は21日放送



茨城県
常陸太田市消防団
団員
柴田 美智子さん

楽しい時間を共有することができ、有難うございました。女性消防団員である事に誇りを持ち、市民の皆様と共に、より良き地域を作りたいと思います。

9月27日又は28日放送



福井県
大野市消防団
団員
櫻川みゆきさん

「今回は、大変貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。
今後、100人の女子力を結集し、安全で安心して暮らせる大野市を目指して頑張りたいと思います。」

10月4日又は5日放送



埼玉県
戸田市消防団 団員
梅田 誠さん

「蝶野さん、山本さんのおかげで、楽しくお話しさせていただくことができました。
これからも消防団等の活動を通して、地域のために頑張りたいと思います。」



平成26年10月、11月放送分に
出演の消防応援団
葛城ユキさん

10月11日又は12日放送



岐阜県
多治見市消防団
副団長
大嶽 修さん

緊張しましたが、葛城さんとお話できて楽しかったです。
多くの方が、消防団に興味を持っていただければ嬉しいです。出演させていただきありがとうございました。元気なまち多治見市に遊びに来てください。

10月18日又は19日放送



大阪府 泉大津市消防団
副分団長 山本 真奈美さん

私たち女性分団の活動を紹介できた事が良かったです。これからもいろんな活動を知ってもらい入団してくれる方が増えたら嬉しいです。

10月25日又は26日放送



愛媛県
内子町消防団
副団長
篠崎 弥継さん

待っている時間は長く感じました。
始まってしまえばあっという間に終わった感じで
した。アドリブと3人での会話は想定外でした。

11月1日又は2日放送



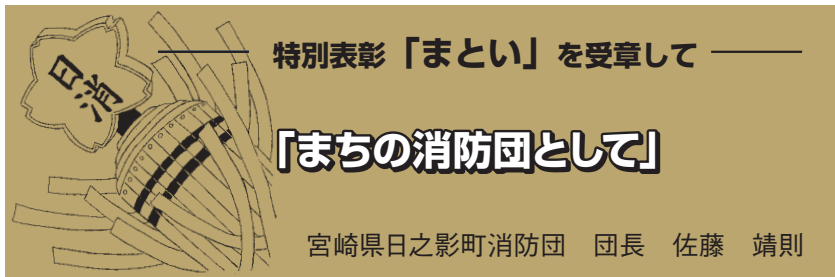
熊本県
津奈木町消防団
分団長
長濱 良子さん

ラジオ放送の出演の話が来て、収録が決まるまで
ドキドキしてました。これからも津奈木町女性消
防団は力を合わせ頑張ります。

おはよう！ニッポン全国消防団
放送局・放送時間

平成26年4月現在

| 放送局 | 放送曜日 | 放送時間 | 放送局 | 放送曜日 | 放送時間 |
|------------|------|-----------|-----------|------|-----------|
| (株)ニッポン放送 | 日 | 6:15~6:25 | (株)和歌山放送 | 土 | 6:30~6:40 |
| (株)STVラジオ | 日 | 5:50~6:00 | (株)山陰放送 | 日 | 8:15~8:25 |
| 青森放送(株) | 日 | 7:20~7:30 | (株)中国放送 | 日 | 5:30~5:40 |
| (株)IBC岩手放送 | 日 | 6:15~6:25 | 山口放送(株) | 土 | 6:45~6:55 |
| 東北放送(株) | 土 | 5:00~5:10 | 四国放送(株) | 土 | 6:40~6:50 |
| (株)秋田放送 | 日 | 6:15~6:25 | 西日本放送(株) | 土 | 7:35~7:45 |
| 山形放送(株) | 日 | 6:20~6:30 | 南海放送(株) | 日 | 8:50~9:00 |
| (株)ラジオ福島 | 土 | 5:40~5:50 | (株)高知放送 | 日 | 6:40~6:50 |
| (株)新潟放送 | 日 | 7:40~7:50 | 九州朝日放送(株) | 日 | 6:15~6:25 |
| 信越放送(株) | 日 | 6:50~7:00 | 長崎放送(株) | 土 | 7:25~7:35 |
| 北日本放送(株) | 日 | 6:10~6:20 | (株)熊本放送 | 土 | 5:30~5:40 |
| 北陸放送(株) | 日 | 7:40~7:50 | (株)大分放送 | 日 | 6:45~6:55 |
| 福井放送(株) | 日 | 6:10~6:20 | (株)宮崎放送 | 日 | 6:20~6:30 |
| 東海ラジオ放送(株) | 日 | 6:00~6:10 | (株)南日本放送 | 土 | 7:20~7:30 |
| 大阪放送(株) | 土 | 6:45~6:55 | (株)ラジオ沖縄 | 日 | 6:35~6:45 |
| | | | 計 | | 計30局 |



1 はじめに

日之影町消防団は、平成26年2月28日、日本消防会館で行われた、「第66回日本消防協会定例表彰式」において、日本消防協会最高栄誉賞の特別表彰「まとい」を受章しました。

これは日之影町消防団の長い歴史と輝かしい伝統の中で、日夜努力を重ねてこられた諸先輩方の功績はもとより、側面からご支援下さった関係機関・地域の方々・団員の家族の良き理解など、多くの皆様方のご協力の賜物であります。

2 日之影町について

日之影町は、宮崎県の北部に位置し、北は大分県に接する人口約4100人、面積277.68km²、農林業が基幹産業の中山間地の町です。

また、総面積の内92%を森林が占める自然美豊かな町でもあり、平成18年には当時九州で唯一「森林セラピー基地」に認定され、それ以降自然の癒しを求める多くの方が日之影町を訪れています。

3 消防団の活動について

日之影町消防団は、火災はもちろん行方不明者の捜索や風水害など、有事の際には多くの団員が



平成17年台風14号により氾濫した五ヶ瀬川



まとい受章祝賀会

出勤して活躍しています。

本町は急峻な地形に集落や農地が点在しているということもあり、これまでも台風や大雨による被害をたびたび受けてきました。近年では平成17年の台風14号や平成19年の台風5号により大きな被害を受けました。

特に平成17年の台風14号では、本町中心部で合流する、五ヶ瀬川とその支流の日之影川の氾濫による大水害や、土砂崩れにより、全壊34戸、半壊37戸、床上および床下浸水75戸という家屋被害が発生しましたが、幸いにも1名の犠牲者も出ませんでした。それは、被災地の住民がこれまでの経験や消防団の避難の呼びかけに応じ、早めの避難を済ませていたからです。

このような台風に対する防災活動等が認められ、平成18年には「日本消防協会表彰旗」を受章しています。

平成26年度は数年ぶりに台風8号、11号が上陸・接近しましたが、幸い影響が少なく大きな被害もありませんでした。その際にも住民は早めに避難をし、消防団も避難の声かけや避難所へ避難誘導の支援を行ないました。

台風接近の際には避難所開設に合わせて消防団も待機し、必要に応じて住民への避難の声かけや誘導、避難者の移動の支援等を行っており、こう

いった日頃の地道な活動の成果が実ったものだと思います。

災害対応の他に、消防操法でも各隊が日々訓練に励んでおり、これまでに宮崎県消防操法大会において小型ポンプの部で優勝2回、小型ポンプ積載車の部で優勝4回という成績を残しています。

平成26年度の宮崎県大会でも小型ポンプの部で優勝、小型ポンプ積載車の部で第2位という成績を取ることができました。

平成16年度と平成20年度の全国大会にも、小型ポンプの部で宮崎県代表として、二大会連続で出場しており、7位入賞するなど優秀な成績を取っています。

その他の活動として、1月の消防初め式、3月の春の全国火災予防運動、出水期前の危険箇所調査、11月の秋の全国火災予防運動等があります。

初め式では、点検や観閲行進、発水試験を行い多くの住民が見学を訪れます。

危険箇所調査は、県や町、警察、消防団の関係機関で実施し、町内の危険箇所の点検や対策の検討を行っています。

春と秋の全国火災予防運動期間には、町内の火元査察や中継送水訓練、住民と合同での消火訓練などを実施しています。

また、日頃の活動としては、年間を通して夜警巡回を実施しているほかに、本町消防団に所属する4名の女性消防団員が、町内の小中学校や各集落に出向き、学校職員やPTA、地区住民などを対象に救急救命・心肺蘇生の講習会や防火・防災の啓発活動も行っています。

4 今後の課題

平成27年度からは、西臼杵郡3町（日之影町・高千穂町・五ヶ瀬町）で消防が常備化されること



平成17年台風14号による水害後の災害復旧活動



日之影町消防操法大会

となり、4月から西臼杵広域行政事務組合消防本部の運用開始に向け、消防署庁舎の建設や車両の配備、消防士の養成、訓練等の準備が進められています。常備化へ向けた消防士の養成のために、本町からも、これまでに2名の職員が宮崎県消防学校の初任科等で消防士としての訓練を受け、平成26年度も5名の職員が訓練に励んでいます。

消防が常備化されれば、消火活動や救急・救助活動、災害等に専門の知識と技術を有する消防士が対応するようになりますが、消防団の出番がなくなるわけではありません。これからは様々な活動の場面において、消防署との連絡調整や連携の方法等が課題になってくると思われます。

現在、日之影町消防団は、条例定数330名に対し、団員数は292名で充足率は88.5%と、少子高齢化や就学・就職のために町外へ出て行く若者が多いことなどが影響し、団員数は年々減少しています。消防団員の確保も今後の重要な課題の一つです。

5 おわりに

日之影町消防団は、これからも「まちの消防団」として、「まとい」受章の誇りを胸に、一致団結して住民の生命と財産を守っていきたいと考えています。

最後に、このたびの「まとい」受章にあたり、格別のご配慮を賜りました日本消防協会をはじめ、消防関係機関各位の皆様へ深く感謝を申し上げます。「まとい」受章のあいさつとさせていただきます。



「地域に根付いた 防災機関 消防団」



竹原市消防団 団長 土居 敏一

1 竹原市の紹介

竹原市は、広島県沿岸部のほぼ中央に位置し、瀬戸内海の豊かな自然と温暖な気候に恵まれています。市内南北を2級河川「賀茂川」が流れ、周囲は朝日山を中心に三方を山に囲まれています。河川上流から中流にかけて田畑が広がり、下流にはぶどう畑が広がっています。広島空港や山陽自動車道など高速交通体系にも恵まれ、空・陸・海の交通拠点都市として発展を続けています。遙か平安時代から京都下鴨神社の荘園として栄えた歴史から「安芸の小京都」と呼ばれる竹原では、特に上市・下市地区において江戸時代後期に製塩業そして酒造業で栄えた屋敷や、由緒あるお寺と町並みが今もそのまま保存されているため重伝建地区に選定されており、NHKの連続テレビ小説「マッサン」のモデルでおなじみ、竹鶴政孝の生家である竹鶴酒造や、頼山陽ゆ



消防出初式



防災訓練において住民の避難を支援する消防団員

かりの頼一門等の町人学者を多く輩出した豪商、商家の華やかな家々が往時を偲ばせます。

2 竹原市消防団の概要

竹原市の消防行政は、近年大きな変化があり、平成21年度にそれまで竹原市も参加していた広域事務組合で所管していた常備消防業務を隣接市の東広島市に委託しました。しかし非常備消防の事務は竹原市で所管することとなり、結果的に竹原市の防災業務の直営機関として、消防団のその役割がますます大きなものとなりました。その流れで消防団の組織も大きく見直すこととし、大規模な組織改革を行いそれまで地域を11地域に分けて編成していた分団を5分団に統合しました。また、以前から所属していた女性団員により新たな独立した分団も編成し、以降計6分団体制、計390名の

団員が活動しています。資機材は、団本部が指揮車両を1台保有し、他に分団に小型動力ポンプ積載車27台を配備し、計28台体制で運用しています。

3 竹原市消防団の活動

竹原市消防団では前記のとおり、女性消防団員だけの独立分団を編成しており、愛称「バンブープリンセス」として活動しています。活動範囲は非常に多岐にわたりますが、年間を通じ男性団員に混じって規律訓練を受け、毎年恒例の1月の消防出初式や9月の竹原市総合防災訓練に参加するだけでなく、防火・防災意識の啓発活動にも主体的に携わり、応急手当普及員の資格を持つ団員を中心に、地域・学校や自治会や自主防災組織の訓練などに出向いて心配蘇生法、応急手当法などの指導を行ったり、火災予防運動期間には防火パレードや街頭キャンペーンなどの予防広報活動の最前線で活躍しています。また、竹原市内の保育所の避難訓練の際には消防署員と一緒に訪問し、幼児を対象に人形劇を使った親しみやすい方法により火災予防・防災教育にも取り組んでいます。

4 今後の展開

平成26年8月20日未明、広島市において未曾有の大規模土砂災害が発生しました。

その際の報道等で多く指摘されたとおり、広島県はその土質の特異性から土砂災害危険箇所数が非常に多く、本市をとりま



商業施設において火災予防啓発運動を行う女性消防団員

く環境も常に危険と隣り合わせの地理条件だと改めて認識させられました。また、沿岸部であり、南海トラフ地震防災対策推進地域にも指定されています。過去、数十年間において、市内において大規模な災害等は発生しておらず、住民の間でも災害の少ない地域であるという認識が広くありますが、近年の異常気象等に起因する大災害がいつ発生するか分からない情勢の中、消防団は地域に根付いた、住民と最も近い、そして信頼される防災機関であるという誇りをもち、市民の安心・安全を守るために日頃の活動に精進していきたいと思っています。



保育所等において人形劇など親しみやすい方法で防災教育を行う女性消防団員



「うみ・ひと・まち 七ヶ浜」の消防団



七ヶ浜町消防団 団長 氏家 進

1 七ヶ浜町の紹介

七ヶ浜町は、宮城県の中心部仙台市の東側(仙台市中心部より約20km)に位置し、周囲27.8kmで、南は太平洋、西は塩竈市、多賀城市、仙台市と接し、三方が海に面した方形に近い半島状の形態をなしています。町の総面積は13.27km²で県内最小の町(北海道・東北においても最少)ですが、東に遠く金華山の霊峰を望み、北東には日本三景「松島」の景勝を誇る四大観の一つに数えられる多聞山があり、人口19,447人、世帯数6,434世帯(平成26年9月1日現在)となっております。

大部分の地域が海に臨み海洋性気候のため、仙台市と比較し夏は2～3度涼しく、冬は暖かい。また、降水(雪)量も少なく、大変住みやすい気候となっているのが特徴であります。



消防演習での放水訓練



消防演習での通常点検

東日本大震災では震度5強を観測、さらにはその後の大津波により町域の36.4%が浸水し壊滅的な被害を受けました。現在は高台への団地造成や地区避難所などの建設も進み、復興も加速してきております。

2 七ヶ浜町消防団の概要

七ヶ浜町消防団は大正9年に発足し、その後の昭和14年に七ヶ浜村警防団に名称を変え、昭和22年に七ヶ浜村消防団となり、昭和34年の町制施行により七ヶ浜町消防団に改称となりました。

現在は10分団で団員数199名、内女性団員が17名で組織されております。消防車両の配備状況は、消防ポンプ自動車10台を配備しております。

今年度は、東日本大震災の津波で流失した消防ポンプ自動車の整備や、簡易担架などの資機材を配備し地域防災力の更なる強

化を図っております。

3 七ヶ浜町消防団の活動

本町消防団の主な活動は、1月の出初式から始まり、5月の新人団員等に対する訓練礼式研修会、6月に町の消防演習(表彰・通常点検・ポンプ操法・分列行進)、7月には遠距離中継送水・無線運用訓練、8月には近隣市町消防団との連合演習と各種訓練などを精力的に実施しております。さらには、12月から3月までの約4ヶ月間、夜間の火災予防警戒広報活動を毎年実施して町内の火災予防に尽力しております。また、本町は三方が海に囲まれているため、津波注意報警報時の水門閉鎖や避難広報及び誘導なども行い、町民の生命や財産を守っております。

平成23年3月11日に発生した三陸沖を震源とした大地震とその後襲った大津波による大災害において、3月11日から4月11日までの1ヶ月で延べ2,620名が出動しました。津波に流された住民や、孤立した世帯の住民の救出及び指定避難所への移送、負傷者に対しての応急救護や病院への搬送、避難所への資機材や食料の運搬、瓦礫撤去補助、行方不明者搜索や犠牲者の遺体収容など、自らが被災者であることを顧み



消防団PR活動



遠距離中継送水訓練

ず、連日災害救助活動に従事しました。

4 おわりに

本年、七ヶ浜町では地域防災計画が見直され、我々消防団にはこれまで以上に地域の要として果たす役割が益々高まっています。災害時には、町民の生命や財産を守ることが使命であり、その期待にも応えていかなければなりません。

当町消防団も年々高齢化してきており、団員の確保や加入促進に苦慮している現状です。ただ、消防団を取り巻く環境には厳しいものもありますが、私を始め団員全員が生まれ育った七ヶ浜を愛し、自分たちの地域は自分たちで守るという強い信念を持ち活動して参ります。

最後に、今後起こりうる可能性がある宮城県沖地震などの災害に備え、更なる装備の拡充や、各種訓練を通しての知識と技術の習得に努め、旺盛な士気と精神力の強化を図り、規律厳正と団結を強固にし、地域の防火防災に万全を期する覚悟であります。



地域防災の要 「縁の下の力持ち」



かほく市消防団 団長 西山 昇

1 かほく市の概要

平成16年3月に旧高松町・宇ノ気町・七塚町の三町が合併して誕生したかほく市も今年で市制10周年を迎えました。

かほく市は、石川県のほぼ中央に位置し、市の東側には能登最高峰の宝達山、西側には美しい夕日が沈む日本海を望み、干潟農業や、潟特有の生態系を営む河北潟があり、水と緑に恵まれた豊かな自然環境を持っています。

また、歴史や教育、福祉の面からも注目を浴びる街であり、上山田貝塚かみやまだや大海西山おおみ弥生の里遺跡公園、石川県西田幾多郎記念哲学館、石川県立看護大学など、石川県の重要な施設が点在しています。

2 消防団の組織

明治30年に消防団の前身となる消防組が旧高松町に発足し、その後、宇ノ気町、七

塚町でも発足し、平成16年の市町村合併に伴い、かほく市消防団となりました。平成18年に新たな分団が増設され、現在のかほく市消防団の形になりました。9分団、190名で活動しています。ポンプ車9台及び、各種災害対策資機材を有しており、地域の『縁の下の力持ち』を目指し、火災のみならず、風水害に対しても活動にあたり、地域住民の生命・財産を守る為に団員が一丸となり日々頑張っております。

3 消防団の活動

毎月2回、夜間に管轄地区を巡回し、火災に対する警戒を行っています。

春と秋の火災予防運動期間の、大規模な火災を想定した火災防ぎょ訓練では消防本部と合同で訓練をする事で火災時でも連携の取れた活動が行えるようにしています。

昔、高松地区であった大火から防火意識を忘れない為に毎年1月に実施されている鎮火フェスタという防火イベントや、各町内会で行われる防災訓練では、管轄する分団が参加し、市民に対して、積極的に指導に当たっています。また、毎年行われている市の防災訓練では、消火訓練、



西田幾多郎記念哲学館外観

傷病者搬送の指導に当たるとともに、地震での建物の倒壊を想定し、所有する資機材や、身近にあるものを使用した倒壊家屋からの救出訓練も行っています。

入団して数年目の団員に対して、ポンプ車の運用や、各種資機材の取り扱いについての団員講習を行い、団員一人ひとりの技術の向上にも努めています。

そして毎年隣接する2町と行われる、郡市連合大会や県操法大会へ向けて、日々操法の訓練に当たっております。平成24年には高松第二分団が、消防団発足以来初めての、全国消防操法大会への出場を果たし、優良賞を手にすることができました。再度かほく市消防団が全国大会への出場を目指すべく、すべての分団が更に士気を高め訓練に取り組んでいます。

4 おわりに

近年、大雨や強風による災害がこれまで



全国消防操法大会の様子



防災訓練での指導

になかったような被害をもたらすようになってきています。かほく市は甚大な被害が出るような災害に見舞われることなく今日を迎えています。いつ今年8月に発生した広島のと砂崩れのような災害が発生するかわかりません。そういった災害が発生した際に、各地域に拠点を置く消防団の迅速な対応というのがとても重要になってきています。そして災害は発生を抑制させることができないため、日ごろから災害に対する危機感を地域住民に根付かせなければ

なりません。防災訓練などで接する事の多い消防団が指導することで住民の意識付けに繋がればと思います。

災害時、訓練時そして日ごろから、地域の安全を守る、住民にとって身近で頼りになる存在であるために日々活動に当たっていきたく思います。



上杉の城下町

「なせば成る なさねば成らぬ
何事も 成らぬは人のなさぬなりけり
上杉鷹山」の精神を受け継いで!!



米沢市消防団 団長 石川 正義

1 米沢市の紹介

米沢には、平安末期に地頭が置かれ、その後、伊達氏が212年間、上杉氏が272年間、本市に居城を構えたことから、現在の城下町としてのまちなみが形成されてきました。

現在のまちの区画の原型は、上杉氏の重臣直江兼続によって築かれ、明治22年、米沢を南置賜郡より分離し市制を施行（全国で39市の1つ）しました。

山形県の最南端に位置し、山形県の母なる川「最上川」の源である吾妻連峰の裾野に広がる米沢盆地に位置し、福島県と県境を接しています。人口86,621人（平成26年4月現在）

2 消防団の構成

米沢市消防団は団本部、16分団、団員数947名（条例定数1016名）で構成され、消



消防出初式

防車両等装備は消防ポンプ自動車8台、小型動力ポンプ付積載車21台、小型動力ポンプ84台を配備し活動を行なっております。



3 消防団の活動

1月の出初式、本市は日本でも有数の豪雪地域であります。分列行進、梯子車を利用したくす玉割、一斉放水を雪の中でも行い、団員の士気を高めています。26日の文化財防火デーでは歴史と伝統のある本市は、有形・無形の文化財が120体もあり、文化財所有者や自主防災組織の協力のもと署・団合同の慎重な訓練を実施し防火意識と文化財保護の高揚を図っています。

4月、新入団員（女性消防団員も含む）の教養・規律訓練を分団長以上の幹部・署員の指導で行なわれ資質の向上に努めています。

4～6月各分団の春季演習も各地区の特色を出しながら行なわれ、各地区民の方々の消防団に対する安堵感が伝わって来ます。

7月、団員の基本でもある消防操法大会、



米沢市消防操法大会

各分団独自の練習で地区の名誉・栄誉の為に凄まじい戦いをします。山形県大会には輪番で出場し優秀な成績を残しています。

12月、団長・副団長（3名）による全分団の消防施設（113か所）の査察（清掃、ポンプ、車両等点検の実施・管理）を行ない上位の分団（班）を表彰し機械・器具への愛義を持つ団員一人一人の向上に努めています。

また、団員の福利厚生を考え6・10月団長杯によるゴルフコンペ（団員・署員・OB・婦人防火指導員）や、2月には各分団対抗のボウリング大会等体力向上と団員・婦人防火指導員との相互の親睦を図っています。

4 女性消防団と婦人防火指導員との連携、そしてラッパ隊

本団では平成24年4月に初めて女性消防団員3名が入団し、現在では10名が入団、救命講習や消火器による初期消火の訓練指導・火災予防（春・秋・年末年始）の広報活動と活躍、また大会や行事の司会・進行を行ない今迄とは違う雰囲気を保っています。しかし、本市には各分団と一緒に16地区からなる、本市に於いても特筆すべき昭和55年に結成した婦人防火指導員（403名）

の組織があり、今後、3年目となる女性消防団員との連携を図り、女性によるきめ細やかな活動が出来るよう導いていかなければなりません。

また、平成18年にラッパ隊を結成し各分団より隊員として選出、協力してもらい団員の士気を高めています。

5 終りに

消防団を取り巻く情勢は少子化・サラリーマン化と次第に厳しいものであるが、本市は全国的に見ても豪雪地帯ではあるが比較的災害の少ない所であります。

近年はゲリラ豪雨・地震・洪水・土砂災害等が頻発しており各地域で甚大な被害をもたらしています。

“備えあれば憂いなし”精神を忘れず、先人が導いて来た歴史と伝統・財産を守るのが責務と思います。これからも常備消防・婦人防火指導員・地域自主防災会・行政と一対となり地域に根差した「豊かで、住み良い街作り」の為に全力で取り組んでまいります。



南陽市豪雨災害時ボランティア



シンフォニー（埼玉県）

「市民のために！」つながる活動へ

深谷市消防団 女性分団 班長

五間 くみ子

1. 深谷市の紹介

私たちの住む深谷市は、平成18年に1市3町で合併、新市深谷市が誕生して今年で9年目となります。市の面積の約半分は農地で、代表的な農産物といえば今や全国ブランドとなった「深谷ねぎ」ですが、そのほかきゅうりやブロッコリーなどの生産量も多く、農業がたいへん盛んな地域です。

2. 女性消防団の活動

女性消防団は、平成21年に15名で発足しました。これまでの活動としては、春の火災予防運動と歳末特別警戒の時に、広報宣

伝カーから火の元の安全確認の呼びかけや、産業祭や市内のイベント会場で住宅用火災警報器の普及促進を図るため、アンケートへの協力や啓発グッズの配布などしてきました。

また、深谷市では202自治会それぞれに自主防災会の結成を進めていますが、現在約半数の自治会で発足できたところです。徐々に増えてきた自主防災会の訓練時にはその地域の分団とともに参加しています。訓練内容は、初期消火訓練や簡易担架作り、AEDの使用方法についてなど、その時々に応じてさまざまですが、市民の方が訓練に

率先して取り組めるよう声をかけるなど、女性ならではの気配りを心がけています。

そして、団が発足して3年目からは、応急手当普及員の認定を受け、普通救命講習時に交代で参加、指導員とともに講習参加者に応急手当の重要性を呼びかけています。

昨年、全国女性消防



防災訓練での住民指導

団活性化岐阜大会に参加しました。女性団員として活動の一端を発表する姿やオリジナルの寸劇や体操などを通し、防災や防火について子どもたちをはじめ住民に啓発してる様子を学び、私たちにも何かできないかという思いが強くなりました。深谷市には3年前に誕生した「ふっかちゃん」

というゆるキャラがいます。子どもたちにも大人気で、このふっかちゃんが大きな地震が起きたときの心構えを教えてくれる紙芝居を作ったら、子どもに限らず高齢者にもわかりやすく伝えることができるのではないかと思います。絵の上手な消防職員にも協力いただいて、先日「ふっかちゃんといこう」と題した紙芝居が完成しました。今後、市内の小学校や幼稚園、高齢者施設などを訪問し、防災意識の向上につなげて



紙芝居での啓発活動

いきたいと思えます。

3. おわりに

現在6年目となった女性消防団ですが、自分たちで活動を積み重ねてきた中で、市民のためにつながる活動へと一歩ずつ広がることができました。これからも、皆で団結し協力しながら女性消防団を身近に感じてもらえる活動をしていきたいと思えます。



普通救命講習会



シンフォニー（沖縄県）

「自分のできる事を探す」

名護市消防団 団員
仲間 光代

私たちの消防団は、とても綺麗なエメラルドグリーンの美ら海（ちゅらうみ）に囲まれた、南国沖縄県の北部に位置する名護市にあります。

亜熱帯海洋性気候である沖縄県は、台風の通り道になっており、県内における一番の災害要因です。

名護市消防団は全174名（内女性14名）5分団から成り、私の所属する屋部分団は46名（内女性4名）で構成されています。

私が消防団に入団することとなったきっかけは、女性消防団員の友人からの誘いでした。私は本土出身で、故郷は京都の小さな田舎町です。近所のおじさんが消防団員だった為、子供の頃から消防団はとても身近な存在でした。火災時などに、すぐに原付バイクに乗って出動して行く消防団のおじさんを、子供ながらにとっても尊敬してい

ました。ですが、消防団は男性が入るものという先入観から、誘われた時は正直躊躇しました。しかし、話を聞くと、女性の主な活動は広報だということで、まずは入団してみようと決意しました。その後、正式に入団が決まる頃には、子供の頃体験した阪神淡路大震災や、東日本大震災の際に感じていた無力さから、入団するからには、災害時などには現場に出動し、男性と同じように活動しようという思いになっていました。

最初の年は、体力錬成で北部地区の消防団が集まりソフトボール大会への参加。自転車ロードレースの世界大会、ツール・ド・おきなわの立哨員ボランティアなどを経験しました。また、年明けには出初式、カンヒザクラの見頃の1月下旬に開催される桜祭りでの防火及び消防団員入団促進パレードへの参加もしました。

入団して初めての台風時には、自分のできることはないかと詰所に行った際に、消防車に乗せてもらい、周辺の巡回を行いました。その時に、チェーンソーを使い折れた木の除去を行うことなど、女性の力では難しい作業を目の当たりにし、入団時に持っていた思い



名護市消防出初式



沖縄県消防操法大会

の様に、無理に何かをしようとするのでは、逆に2次災害となってしまう。自分の力量を理解した上で、自分のできる事をやるべきだということを痛感しました。

消防団に対する思いがより強くなったのは、入団2年目に経験した小型ポンプ操法大会への参加でした。大会へ参加することが決まった時は、まだホースも機械も触ったこともなく、ポンプ操法自体を見たこともないような状況でしたので、まず、一通りの流れができるようになるのだろうか、というような段階でした。私は3番員(機械員)を担当することになりましたが、操作方法を教えて頂いても、何かの操作が欠けてしまったり、身に付くまでとても時間が掛かりました。しかし、消防本部職員の皆さんや、先輩団員の皆さんが丁寧にご指導してくださり、どうにか大会に出場できるまで進歩することができました。大会は残念な結果となりましたが、訓練の中で、実際の火災時に、如何に的確さ、迅速さが重要かということ、また、日頃の訓練の大切さがとてもよく分かりました。次回の大会も必ず参加し、

今度は結果を残せるまでになりたいと思っています。

沖縄県は、本土に比べ災害が少ない為か、防災に対する意識は高い方ではないかもしれませんが、地域の活動に積極的に参加し、地域の方々とのコミュニケーションを大切に、気軽に頼れる身近な存在でありたいと思います。

私たちの分団では、団員の意識とスキル、団結力向上の為、月に一度の訓練を行っています。皆仕事を持ちながら消防団を勤めている為、急な出動時に全員が集まれるとは限りません。そこで、全員が全ての操作をできることを目標に、訓練を積み重ねています。

現在入団3年目。もしもはいつ起こるか分からないので、防災活動を始め、消防団員という意識をしっかりと持ち、女性消防団員の役割を一つでも多く見つけていけるよう、今後も活動に励みたいと思います。



沖縄県消防操法大会

平成26年度消防団幹部等海外消防事情調査（北米コース）

平成26年10月14日（火）から10月22日（水）

（公財）日本消防協会

日本消防協会では、毎年度「海外消防事情調査」を実施しております。

本年度は、全国の消防団長等幹部の方々総勢26名の参加をいただき、10月14日（火）から10月22日（水）までの9日間、アメリカのニューヨーク、カナダのバンフ、カムループスとバンクーバーの4ヶ所で現地調査を行いました。

ニューヨーク市では、約60人の消防団員のみで運営されているクイーンズ地区のブリーズ消防署を訪問しました。2012年10月のハリケーンサンディ襲来時には、住民が避難する中、団員は消防署に留まり、警戒に当たっていましたが、125棟が全焼する大火災が発生しました。雨、強風、道路の冠水の中で多くの住民を救い、命がけで消火活動に従事された経験について、お話しいただきました。地域愛と消防団員の誇りに感動しました。



記念写真



消防署の外観



カナダ・バンフの町は、人口約1万人に対して観光地のため年間300万人が訪れます。4名の常備消防職員と31名の消防団員が在籍しており、年間約500件の災害出場があり4台の消防車両で災害対応しています。空気ボンベの充てん施設・ホース乾燥施設や訓練施設があり充実した施設となっています。週1回消防団員を集めてミーティング後に訓練を行っており皆さん熱心に取り組んでいます。



カムループス市では、カムループスファイヤーセンター及び市内の第2消防署を視察しました。

カムループスファイヤーセンターは、1912年にBC州政府機関として設立され、林野火災の消火、予防、地元消防との連携で消火活動に従事しています。林野火災は、5月から10月までの間（火災期）に2,500件発生し、このうちの約半数は落雷が原因となって発生しています。特に航空消防においては、ヘリコプターや飛行機（エアータンカー）を活用して消火や隊員の投入は、広大な土地を持つカナダでは非常に有効です。

カムループス第2消防署は、市内に5つの消防署があるうちの1つで、16人勤務体制であり、消防ポンプ自動車、30m級はしご車、救助工作車、林野火災対応車、指令車の5台を有し、林野火災をはじめ、交通事故対応や救急支援活動を行っています。



林野火災の様子



林野火災の様子



ヘリからの消火活動



ヘリからの消火活動

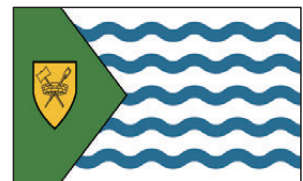


エアータンカーでの消火剤投下



カムループスファイヤーセンターでの講義

ブリティッシュコロンビア州の南西部に位置するバンクーバー市（人口約64万人）の消防局は、消防職員825人（うち女性職員19人）が在職し、20ヶ所の消防署が設置されています。バンクーバー市には、義勇消防（消防団）の組織はありませんが、緊急対応チーム（日本の自主防災組織的なもの）として、約150人のボランティア組織があり、今後、300人を目標にインターネット等により募集し、増員を図って行くこととしています。なお、これらの方々の報酬は無償とのことでした。



（バンクーバー市旗）



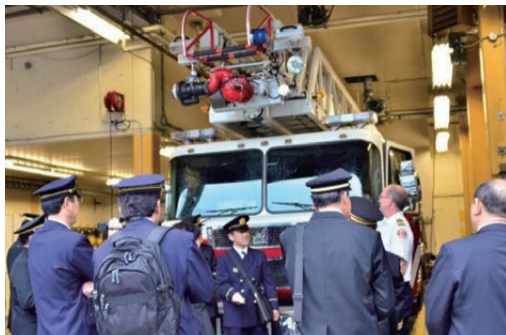
(第1消防署)



(車庫全景)

バンクーバー消防局第1署は、ポンプ車1台、38M級のポンプ付はしご車1台、医療用応急処置車1台の計3台を配備し運用しています。ポンプ付はしご車と医療用応急処置車については、第1消防署の人員体制の観点から、乗換運用で対応しているのが実情でした。

バンクーバー市では、救急と消防の機関は別組織で運用しています。救急の事案が発生した場合は、この医療用応急処置車が出動して一時的な応急処置を行うものの、搬送は医療機関の救急車が行うとのことでした。



(ポンプ付はしご車)



(医療用応急処置車)

バンクーバー市消防訓練センター（VFRS Training Center）の敷地面積は、3.5エーカー（4.2平方キロメートル）の広さを所有し、消防訓練施設は2000年に建設された4階建ての施設です。また、この消防訓練施設は、実践向けに建てられた訓練施設であり、内部は7つに区画され、炎はプロパンガスにより発生させ、煙はスモークマシンを使用し発生させております。



(消防訓練施設)



(消防訓練施設)



(鉄道災害を想定した訓練施設)



(交通事故を想定した訓練施設)

ヘビーアーバンサーチ&レスキューチーム（都市捜査救助隊）の資機材を格納している施設がありました。カナダ全体で4つの施設が設置されていますがこの施設はその内の一つとなっています。

土砂災害時の救助対応としては、捜索犬を活用し土砂やガレキに埋もれた方の捜索活動をしています。捜索犬は、生存者を探す犬と遺体を探す犬の2種類がいるため、非常に有効な捜索活動が行われます。これら2種類の捜索犬は、トレーニングの内容に大きな違いがあります。



(ヘビーアーバンサーチ&レスキューチームの資機材格納施設)



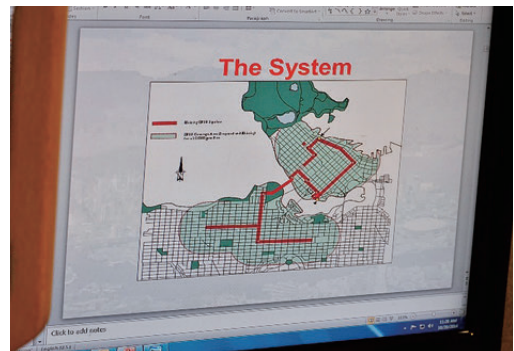


消防専用水道システムDFPS (Dedicated Fire Protection System) は、大規模災害や高層ビル火災に対応する消防専用水道システムであり、アメリカのサンフランシスコ市とカナダのバンクーバー市にしかない施設で、アメリカとカナダのエンジニアが協力してバンクーバー市が建設した施設となっています。

バンクーバー市のダウンタウン（高層ビル街）に通常の消火栓とは別系統で非常時用として、地下8 M程度の深さに24インチ（60cm）のパイプを設置し、地域内に66基の高圧消火栓が設置され、1分間に8万リットルの送水を可能としています。



(ダウンタウンに設置されている高圧消火栓)



(高圧消火栓の配管図)

平成26年度 防火ポスターコンクール審査結果

生活協同組合 全日本消防人共済会

生活協同組合全日本消防人共済会では、小学校4年生以上から中学生を対象とした防火ポスターコンクールを毎年行っています。

今年度も各都道府県の支部から選出された作品の中から、一次審査及び二審査を行い最優秀作品に埼玉県熊谷市立別府小学校5年志賀友里乃さんの作品が選ばれました。

最優秀作品には平成26年度全国統一防火標語「もういいかい 火を消すまでは まあだだよ」の標語を掲載し、11月9日から行われる秋の全国火災予防運動にあわせて防火ポスターとして全国に配布いたしました。

たくさんのご応募ありがとうございました。

平成26年度防火ポスター



最優秀賞

埼玉県 熊谷市立別府小学校 5年 志賀 友里乃さん

平成26年度防火ポスターコンクール審査結果一覧

最優秀賞（1名）

埼玉県 熊谷市立別府小学校 5年 志賀 友里乃さん

優秀賞（2名）

岐阜県 大垣市立北中学校 3年 竹中 円香さん

愛媛県 西予市立土居小学校 6年 武田 未結さん

佳作（9名）

北海道 池田町立池田中学校 3年 上田 萌夏さん

岩手県 北上市立笠松小学校 6年 小原 千宥さん

岩手県 盛岡市立河南中学校 2年 内村 来海さん

宮城県 名取市立増田西小学校 5年 伊藤 凜さん

埼玉県 北本市立北本中学校 3年 稲村 陽菜さん

京都府 宇治田原町立維孝館中学校 1年 藤田 桃歌さん

鳥取県 倉吉市立東中学校 1年 田中 沙季さん

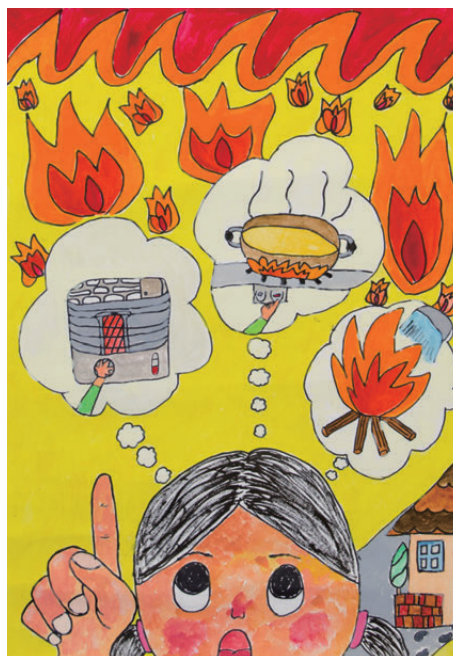
愛媛県 久万高原町立畑野川小学校 4年 岡本 大知さん

福岡県 築上町立築城中学校 3年 黒木 琴音さん

優秀賞



岐阜県大垣市立北中学校
3年 竹中 円香さん



愛媛県西予市立土居小学校
6年 武田 未結さん

「桑名市消防団サポート事業」 平成26年10月1日から運用開始

桑名市消防団

桑名市消防団は、団員確保と地域防災力の向上を目的とした「消防団サポート事業」について、403カ所（サービス提供事業所267カ所・ポスター掲出事業所136カ所）の事業所や販売店等に登録をいただき、平成26年10月1日から運用を開始しました。

「消防団サポート事業所」とは、桑名市内の事業所あるいは商店などの皆様に、事前に登録していただき、桑名市消防団員に対して各種サービスや割引などを提供したり、消防団員募集のポスターを掲示するなど、様々なかたちで、桑名市消防団員そして桑名市消防団を応援していただく事業所のことです。

この事業により、消防団員が減少している状況を踏まえ、その確保を図るとともに、地域の皆様に「消防団」をアピールし、その認知度を高めたいと考えております。

そして、多くの事業所の皆様にご協力いただき、桑名市全体で消防団を応援する体制を作り、災害に強いまちづくりをめざします。


なお、この事業は、三重県では初の取り組みで、今後も継続して、消防団サポート事業所の募集を行います。

サポート事業の詳細や登録事業所一覧については、桑名市ホームページをご覧ください。



消防団サポート事業所表示証は2種類を準備しており、店舗に合う方を選んでもらっています。



| | |
|---|--------------|
| 桑名市消防団員証 第●●●●号 | |
| 住所 | 桑名市□□町××-△△ |
| 氏名 | ○ ○ ○ ○ |
| | 昭和●●年●●月●●日生 |
| 上記の者は桑名市消防団員であることを証明する | |
| | 平成●●年●●月●●日 |
| 桑名市消防団長  | |

| | |
|----|------------------|
| 担当 | 桑名市消防本部 |
| | 総務課企画装備係 井上 |
| | Tel 0594・24・5274 |

荻窪消防団と三鷹市消防団の連携による 震災時を想定した貯水・遠距離送水訓練を実施

荻窪消防団

荻窪消防団と三鷹市消防団は、平成26年10月18日に、大震災発生時に水量が不足している木造住宅密集地域の火災を想定した連携訓練を実施しました。

訓練では、荻窪消防署と隣接する三鷹消防署との協議により、緊急時の消防水利として指定している井の頭公園内を流れる神田川に、荻窪消防署隊が所有する貯水シート（低水位河川をせき止め巨大水利とする資器材）を設置し、無限水利を確保するとともに、その水利を活用した遠距離送水訓練を実施しました。

東京特別区の荻窪消防団と三鷹市消防団との連携訓練は初の試みであり、両消防団は、実災害を想定し、分団長を中心に士気旺盛に訓練を実施しました。

訓練終了後には、活動技術を一層向上させるため、意見交換を実施しました。



貯水シートの設置状況



遠距離送水訓練

外出先での地震への対処

消防庁 防災課

地震が発生したとき、身の安全を確保するには、一人ひとりがあわてずに適切な行動をとることが極めて重要です。そのためには、日頃から皆さんが地震について関心を持ち、地震の際の正しい心構えを身につけておくことが大切です。

今回は、特に外出先での地震への対処について取り上げてみます。

① 住宅地

強い揺れに襲われたら、住宅地の路上では落下物や倒壊物に注意しましょう。

- 住宅地の路地にあるブロック塀や石塀は、強い揺れで倒れる危険があります。揺れを感じたら塀から離れましょう。
- 電柱や自動販売機も倒れてくる場合がありますので、そばから離れましょう。
- 屋根瓦や二階建て以上の住宅のベランダに置かれているエアコンの室外機、ガーデニング用のプランターなどが落下してくる場合があります。頭上からの落下物に注意しましょう。

② オフィス街・繁華街

中高層ビルが建ち並ぶオフィス街や繁華街では、窓ガラスや外壁、看板などが落下してくる危険性があります。

- オフィスビルの窓ガラスが割れて落下すると、広範囲に拡散します。ビルの外壁や貼られているタイル、外壁に取り付けられている看板などが剥がれ落ちることもあります。鞆などで頭を保護し、できるだけ建物から離れましょう。
- 繁華街では、店の看板やネオンサインなどの落下・転倒の危険が特に高くなるため、強い揺れに襲われた際には十分注意しましょう。



③ 海岸・川べり

海岸や川べりで強い揺れに襲われたら、一番恐ろしいのは津波です。避難の指示や勧告を待つことなく、直ちに避難しましょう。

- 強い地震を感じたとき、または弱い地震であっても長い時間ゆっくりとした揺れを感じたときは、直ちに海岸や川べりから離れ、急いで高台や津波避難場所、津波避難ビルなどの安全な場所へ避難しましょう。
- ラジオや携帯電話、スマートフォンなどを活用し、津波に関する情報を入手しましょう。
- 津波は繰り返します。第1波が小さくても後から来る波の方が高い場合があるので、いったん波が引いても絶対に戻ってはいけません。

④ 山・丘陵地

落石に注意し、急傾斜地など危険な場所から遠ざかりましょう。

- 山ぎわや急傾斜地では、山崩れ、がけ崩れが起こりやすいので、早めに避難しましょう。また、市町村の避難指示等があれば、直ちに避難しましょう。



⑤ 自動車の運転中

急ブレーキを踏めば予想外の事故を引き起こすことにつながります。

- 道路の左側か空地に停車し、エンジンを止めましょう。
- カーラジオで災害情報を聞きましょう。
- 警察官が交通規制を行っているときは、その指示に従いましょう。
- 避難するときは、車のキーはつけたままにし、ドアをロックしないで、徒歩で避難しましょう。

問い合わせ先

消防庁国民保護・防災部防災課 日野、辰巳
TEL: 03-5253-7525

消防団員・消防職員だからこそ加入できる

消防個人年金

消防個人年金で笑顔とゆとりの将来へ

8つのポイント

①積立金には予定利率（※1）年1.25%+配当率（※2）が適用されます。

<参考> 過去2年間の予定利率と配当率

| 年度 | 予定利率 | 配当率 | 合計 |
|--------|-------|-------|-------|
| 平成25年度 | 1.25% | 0.26% | 1.51% |
| 平成24年度 | 1.25% | 0.17% | 1.42% |

（※1） 予定利率は平成26年6月1日現在（将来変動することがあります。）

予定利率は保険料（掛金から運営事務費を除いたもの）のうち、引受保険会社の保険事務費等を控除した額に対する利率であり、払い込んだ掛金額に対する利率ではありません。予定利率は預金等の利回りとは異なります。

（※2） 毎年の配当金はそれぞれのお支払時期の前年度の決算実績等により決定します。決算実績等によってはお支払できない年度もあります。

年度途中で脱退された場合（死亡による脱退含む）はその年の配当はありません。

②老後生活に向け、計画的な財産形成が可能です。

③月払の場合、毎月10,000円（ゆうちょ銀行の口座からの振替の場合は5,000円）の掛金から加入できます。

④払込満了時には、5種類の「年金受取」の他に、「一時金受取」が選択できます。

⑤途中で脱退しても積立金（脱退一時金）が受け取れます。

⑥税制適格コースは個人年金保険料控除、自由選択コースは一般の生命保険料控除の対象となります。

⑦消防団員、消防職員の退団・退職後も継続できます。

⑧現在約31,000名の方が加入され、約8000名の方が年金を受け取られています。（平成25年決算時点の実績）

お問い合わせ先

公益財団法人 日本消防協会 年金共済部

0120-658-494

平日 9:00~17:00



うちの

名物団員



宮城県



気仙沼市消防団 団本部 団員

佐藤 瑠美

気仙沼市消防団の佐藤瑠美さんは、平成25年に東京から気仙沼に帰郷したことを機会に「震災を受けたふるさとのためにできること」と志し高く消防団に入団しました。本部分団に属しており、月に一度の消防団無線訓練では本部通信員として「こちら団本部・・・」と各班の団員に癒しの声を届けています。



宮城県



仙台市青葉消防団 副団長

大場 啓壽

仙台市から青葉消防団の大場副団長を紹介いたします。大場副団長は消防団の情報連絡等をいち早く正確に伝えるため、幹部間のメールによる連絡体制を取り入れるなど積極的な活動に取り組んでいるほか、階子乗り隊の組頭として約30名からなる隊全体を指揮統制しております。また、市民の有志で構成された「木遣り隊」を結成し、その中心的存在として、日々練習に取り組んでおられます。



三重県



津市消防団芸濃方面団 ささゆり分団 分団長

松谷 トシ子

松谷さんは、家業の土建業を切り盛りしながら、常に女性消防団員としてリーダーシップを発揮し、「肝っ玉母さんを地で行く包容力十分な日本のお母ちゃん」として地域の人たちから親しまれ愛されています。また、本年8月には東京国際フォーラムにおいて「消防団を中核とした地域防災力充実強化大会」で防災劇に出演し、女優さん顔負けの熱演で会場の皆さんから多くの拍手喝さいを受けました。

埼玉県



深谷市消防団 副分団長

高橋 秀男

日本資本主義の父である渋沢栄一翁の生誕の地、深谷市消防団から、高橋秀男さんを紹介いたします。明るく朗らかな性格で、長年分団のリーダーとして活躍し、頼れる兄貴分として皆から敬愛されています。高橋さんは約20年前から、バルーンアートで子供たちに風船を配りながら、火災予防や防災対策について啓発活動を行っています。幼年世代からの防災意識高揚のため、地域のイベントに積極的に参加しています。



呉市消防団 女性消防隊 団員

本田 慶子

呉市消防団は、団員1,949人（平成26年9月1日現在）で構成され、そのうち、女性消防団員は、28人が所属しています。

普段は、中学校の特別支援学級の指導員として勤務の傍ら、女性消防団員として予防・救急などの啓発活動を行い、更には、消防の心意気を伝える「はしご隊」の一員として活躍しているのが本田団員です。

7年前に入団した好奇心旺盛な彼女は、更なるチャレンジとして「はしご隊」に入隊。現在は、ただひとりの女性乗り手として出初式や各種イベント等で演技を披露し、安心安全なまちづくりを目指すべく広報活動も行っています。

「最初は恐怖心で足が震えていましたが、他の団員の支えもあり、今では楽しく演技しています。」と話しています。

将来、女性消防団員のリーダーとしての活躍が期待されています。



津幡町消防団 河合谷分団 分団長 機能別消防団員 団員

得能 久義 得能 人美 得能 基希

津幡町消防団の中で家族3人が消防団員として活躍している得能久義分団長、妻の得能人美機能別消防団員、長男の得能基希団員を紹介いたします。

所属する河合谷分団は自然豊かな山間地区にあり、久義さんは花火師としても地区行事に活躍、妻人美さんは団員が手薄になる日中、消防ポンプ車の機関員として、長男基希さんは青年団などへの防災指導とそれぞれ日々奮闘しています。

普段はごく普通の家族でありながら、災害発生時には真っ先に消防服に身を包み3人で出動しています。



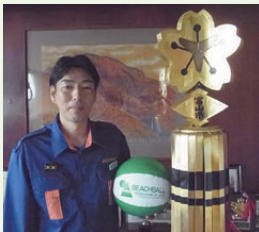
内灘町消防団第1分団 団長

北川 卓実

地元内灘町で開業している居酒屋ひばりの店主卓実さんは、夜遅くまでの仕事でありながらポンプ車操法をはじめ早朝からの訓練や店が格納庫から近いこともあり各種災害にもいち早く参集、出動されています。

「消防団として自分の町を守りたいという気持ちや、団結力に魅力を感じ消防団員を続けている」と語る卓実さんには、これからも「ひばり」と「内灘町」を守り続けていてもら

いたいと期待しています。



朝日町消防団 第4分団 団員

寺田 隼人

いつでも、どこでも、だれでも手軽に楽しめるスポーツ「ビーチボール」の発祥の地として知られる富山県朝日町から、寺田団員を紹介します。

寺田団員は消防団員として地域の安全・安心を守っている傍ら、朝日町スポーツ推進委員として、「ビーチボール」の普及活動に励んでいます。

選手としても2年連続全国大会出場し、日々後輩の指導・育成にも取り組んでいます。

寺田氏曰く「消防団活動も、ビーチボールも、仕事も、家族サービスも、宴会も常に全力で臨んでいる」との事。

毎年9月に開催される全国ビーチボール競技大会で朝日町を訪れる際は、ぜひ寺田団員にお声をかけて下さい。



消防団の広場

富山県



「安全・安心で自然の

豊かな町であるために」

朝日町消防団
団長

鹿熊 正一



朝日町は富山県の東端に位置し、新潟県と長野県に接しており、海、山といった大自然に恵まれた町です。ヒスイと呼ばれる

宝石の原石が発見できるヒスイ海岸、北アルプス最北端の朝日岳や白馬岳など3,000m級の山々が有名であり、海水浴、登山、キャンプなどレジャーや観光目的で町外からもたくさんの方が訪れています。町の人口は現在13,266人で、面積は227.4km²と広く、山間部が町の約7割を占めております。



水防工法研修会の様子

朝日町消防団は現在6分団制で、団員定数は273名で構成されています。消防団の活動内容として、毎月の防火広報をはじめ、各種火災を想定した放水訓練、地震や津波に対応した避難誘導訓練、水害時を想定した水防訓練や水防工法研修会などを行っております。また、平成23年度より女性消防団員を任用し、消防署員とともに救急フェア、住警器キャンペーン、保育所での紙芝居など女性ならではの活動で防火・防災意識の啓蒙に努めています。



救急フェアでの女性消防団員の様子

朝日町は自然豊かな町であるがゆえに高波被害、土砂災害、山林火災など多種多様な災害に対応しなければなりません。地域住民のみなさんが安全で安心して暮らせる町づくりのために団員一丸となり日々消防団活動に励んでいきます。

平成26年度 全国統一防火標語

「もういいかい 火を消すまでは まあだだよ」

12月の日本消防協会関係行事

12月12日（金）

義士祭（日本消防会館）

編集後記

秋の過ぎやすい気候も束の間、周囲の気温も一段と下がり、早くも霜月、冬の足音が確実に迫ってまいりました。

11月と言えば、昨年の11月25日、約3万7千人もの皆さんから参加を頂いた消防団120年・自治体消防65周年記念大会が、思い出されます。

去年の今頃、私を含め7名の事務局員は、記念大会が差し迫り経験したことのない焦燥感に襲われている毎日でした。また、詳細部分が決定するまでの紆余屈折、次から次へと発生する問題との格闘の日々でした。さらに、日増しに疲弊して行く私達には、その頃から次の様な声が掛かるようになって来ました。「疲れてきているねえ」、「痩せてきたねえ」、「やつれてきたんじゃない?」、最終的には「老いてきたねえ」とさえ言われた方も…。

しかし、そんな中で何よりの救いであったのが、労いの言葉を掛けてくださり、惜しめない協力をしてくださった、都道府県消防協会の方や、日消OBの方、関東近郊の消防職団員の方々の存在でした。

本当に皆様の心強い応援とご支援によって、この大会が無事に終えたものと思っております。

目を閉じれば、東京ドームに天皇皇后両陛下をお迎えし、厳かに執り行われた第一部の式典から、第二部の防実技“日本消防の歩みと展望”、第三部の消防の士気高揚の場面が鮮明に思い出されます。

今年の11月25日は、東京ドームを遠目に見える場所に集まり、大会の思い出にしみじみと浸りながら、更なる消防団の発展に思いを馳せ、大いに盛り上がりたと思います。(T.S)

購読募集

購読を希望される方は、(公財)日本消防協会へお問い合わせください。

※ 年間購読料（送料込） 2,448円

（問合せ先） 総務部企画担当 03-3503-1481

寄稿のお願い

皆さまの消防団活動への取り組み、ご意見などをもとに、より充実した有意義なものにしていきたいと考えておりますので、多数のご寄稿をお待ちしています。

Eメールでも受付しています。

soumu@nissho.or.jp

月刊「日本消防」第六十七巻第十一号
平成二十六年十一月五日印刷
平成二十六年十一月十日発行

編集人 生嶋文昭
発行所 日本消防協会
東京都港区虎ノ門二丁目九十六
電話 〇三(3503)一四八一(代)

印刷所
東京都文京区湯島三二丁目十二
日本印刷株式会社
電話(383)六九七一(代)

生活協同組合 全日本消防人共済会

「火災共済金は1500倍補償」

B型火災共済

加入口数5口500円から25口2,500円まで
掛金25口2,500円で最高375万円の共済金

C型火災共済

加入口数最高200口20,000円まで
最高限度額掛金200口20,000円で最高3,000万の共済金
※共済への加入にあたり、組合員となっていたためのお出資金が別途必要となります。



共済金のお支払い対象 B型・C型共通

火災共済金：火災、落雷、爆発・破裂

風水雪害等共済金：風災、水災、雪災、車両飛び込み、航空機墜落

所在地 東京都港区虎ノ門2-9-16
日本消防会館6階
連絡先 TEL 03-3503-1439
FAX 03-3503-1480
E-Mail: kyousaikai@nissho.or.jp
URL: <http://www.shouboujin.or.jp>

消防個人年金

消防個人年金は、将来の自分の為の積立年金制度で、(公財)日本消防協会が第一生命保険株式会社と締結している拠出型企業年金です。

消防個人年金を紹介します

- 1 予定利率は**1.25%**です。
- 2 **月払、半年払、月払と半年払の併用**から
払い込み方法をご選択頂き、**掛金1万円**(ゆうちょ銀行は5千円)からご加入頂けます。また、まとめた資金を**一時払**することもできます。
- 3 年金は、**年4回**で受給して頂けます。
- 4 **退団・退職後も継続**できます。



そのほか詳しくは、ホームページをご覧ください。